

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 乳児保育Ⅱ ナンバリング：2313	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：加藤房江 担当形態：単独
系 列	保育の内容・方法に関する科目		
教科目	乳児保育Ⅱ		
授業の到達目標及びテーマ 1. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わりの基本的考え方について理解できる。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法や環境について理解できる。 3. 乳児保育における配慮の実際について学び、指導計画の作成について理解できる。			
授業の概要 3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わりの基本的考え方や養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法や環境についての理論と実際をすり合わせて理解し、計画の作成ができるよう考察を深めていく。			
授業計画 第1回：オリエンテーション、子どもの基本と保育士等との関係の重要性 第2回：個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的関わり 第3回：子どもの主体性の尊重と自己の育ち 第4回：子どもの体験と学びの芽生え 第5回：子どもの1日の生活の流れと保育の環境 第6回：子どもの生活や遊びを支える環境の構成 第7回：子どもの体験と学びの芽生え 第8回：子どもの1日の生活の流れと保育の環境 第9回：3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と援助の実際 第10回：3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊びと援助の実際 第11回：子ども同士の関わりとその援助の実際 第12回：子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮 第13回：集団での生活における配慮 第14回：環境の変化や移行に対する配慮 第15回：長期的な指導計画と短期的な指導計画 個別的な指導計画と集団の指導計画 定期試験：レポート・小テスト		授業時間外の学習 課題プリントやロールプレイ、グループワークにおいて主体的に臨む姿勢が大切になる。事前学習と事後学習に1時間程度の時間が必要である。 自らが将来的課題を見つけてそれに向かって学習することが重要である。	
授業の方法 乳児人形を使い実際の技術を学び、保育実践を行う。また、視聴覚教材を通して実際の現場の様子を把握し、子どもの様子や保育の仕事内容を理解する。ロールプレイを通して能動的に実際の保育者役・子ども役を体験することで、保育を構成し、計画、立案する力を身につける。学生からの課題に対して、次の授業でフィードバックしている。			
テキスト 『見る・考える・創り出す「乳児保育Ⅰ・Ⅱ」』CHS子育て文化研究所 迫田圭子ら 萌文書林			
参考書・参考資料等 『保育所保育指針』（最新版）『幼稚園教育要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園・教育保育要領』（最新版） 『マンガでわかる保育所保育指針』浅井拓久也 著 中央法規			
学生に対する評価 ルーブリック評価・授業内提出物・課題レポート・小テスト(70%)、授業参画度・発表(30%)等で判断する。			
履修上の注意 ・保育士になるための大切な授業であり、「乳児保育Ⅰ」で学んだことを基礎として、乳児保育の学びを深められるよう積極的姿勢で学ぶこと。 ・グループワークや模擬保育は協力して行い、演習に必要な持参物品の準備をすること。 ・受講にあたって、事前事後の学習を行い、積極的態で授業に臨むことを期待する。			
実務経験の有無	有	実務経験	元主任保育士
実務経験を活かした教育内容 保育士の経験を活かし、実践での子どもとの関わり方や保育士の職務内容を学ぶ等に役立つ授業を行う。			